



SPAC俳優の

朗読で楽しむ中勘助

中勘助文学作品を、SPAC俳優が朗読します。
今年はさらに、朗読のコツを教えてください。

- 日時 | 11月26日(土)
14:00~15:30 (13:30 開場)
- 会場 | 中勘助文学記念館 (葵区新聞 1089-120)
- 会費 | 無料
- 定員 | どなたでも 30 人
- 申込 | 10月27日(木) 8:00 から電話受付
静岡市コールセンター
(☎054-200-4894)
へお電話ください。(申込順)

◎SPACとは？

静岡県舞台芸術センター (Shizuoka Performing Arts Center : SPAC) は、グランシップ内にある静岡芸術劇場 (東静岡) および舞台芸術公園 (日本平) にある専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団です。多彩なラインナップからなる舞台芸術作品の創造・上演とともに、「ふじのくににぞせかい演劇祭」の開催、人材育成事業、海外の演劇祭での公演、地域へのアウトリーチなど様々な活動に取り組んでいます。

中勘助文学記念館のご案内



子どもの世界をあざやかに描いた「銀の匙」で有名な作家、中勘助は昭和18年、58歳の時に転地静養と疎開のため東京から旧服織村（現在の葵区新聞、羽鳥付近）へ移り、4年半を過ごしました。村の自然や村人とのふれあいはその後の作家活動に大きな影響を与え、帰京後も村人との交流は続きました。

静岡市は、中勘助生誕110年目（没後30年目）にあたる平成7年に、中勘助夫妻の住居を整備復元して中勘助文学記念館として開館しました。一般開放しているほか、歌会・句会など文化活動に利用されています。

入館料：無料
開館時間：午前10時～午後5時
休館日：月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日（土・日曜日を除く）、年末年始（12/26～1/5）
所在地：〒421-1201 静岡市葵区新聞1089-120
電話番号：054-277-2970

※11月～平成29年3月まで収蔵庫建設工事の為、駐車場2台程度。

会場アクセス

行き方 バス しずてつジャストライン 藁科線「新静岡」2番のりば または 「静岡駅前」3番のりば
バス停「見性寺入口」下車、徒歩2分

